

令和4年度第76回関東高等学校女子バスケットボール選手権大会

新型コロナウイルス感染対策ガイドライン

1) はじめに

「令和4年度 第76回関東高等学校女子バスケットボール選手権大会 新型コロナウイルス感染対策ガイドライン」(以下、本ガイドライン)は、「JBA(公益財団法人日本バスケットボール協会)バスケットボール事業・活動実施ガイドライン第5版」(2022年5月12日作成)及び「関東高等学校体育大会実施時における新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針」、栃木県教育委員会・栃木県高体連ガイドライン等を参照し、作成しております。

2) 感染対策責任者の設置

- ・参加チームは感染対策責任者を設置してください。
- ・感染対策責任者は、大会への不参加が決定された場合、「関東高等学校体育大会実施時における新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針」を参照し、速やかに連絡をお願いします。
- ・感染対策責任者は、日常のチームの活動において健康チェック、検温を選手スタッフが行うことを管理し、陽性者や濃厚接触者が発生した際の対応と、その情報連携を行う担当となることが求められます。感染してから対応を考えるのではなく、いかにして陽性者を出さないようにするか、対応を行うことに留意してください。

3) 選手・スタッフ・大会関係者・役員の大会参加について

(1) 選手、チームスタッフは以下に該当しないこと。

〔健康確認シート(別紙)のチェック項目全てにチェックがつくこと〕

1. 平熱を超える発熱がある。
2. 咳(せき)、のどの痛み、などの風邪症状がある。
3. だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)がある。
4. 臭覚や味覚の異常がある。
5. 体が重く感じる、疲れやすく倦怠感等がある。
6. 新型コロナウイルス感染症陽性者と、濃厚接触がある。
7. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる。
8. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある。

【その他通知要項】

- (1) 大会への出場権を得たチーム・選手は、大会が定めるガイドラインの各種事項について遵守するものとし、虚偽等は一切あってはならない。
- (2) 各チームの感染対策責任者は、大会当日に健康確認シート・参加者名簿（2部）を受付で提出する。但し、健康確認シートは確認後、感染対策責任者の方が、大会期間中保管してください。
- (3) 出場する試合の4日前から、新型コロナウイルス感染症疑いの体調不良（有症状）者が発生した場合は、当該チームの感染対策責任者は、前途の体調不良者と濃厚接触者を確認し、大会本部と協議をする。
- (4) 政府や都県から新たな措置（緊急事態宣言や自粛要請等）が発出された場合は、大会を中止する場合がある

4) 大会開催期間中における対策ならびに留意点

- (1) 一般観客なしで実施します。但し、以下の人数制限のもと来場を可能とします。
エントリー外部員及びチーム応援関係者（保護者等及び学校関係者）合わせて最大40名
- (2) 各チームの入退場口はメインエントランスになります。入場時に、受付にて感染対策責任者は健康確認シート・参加者名簿（2部）を提出し、非接触型の体温計で検温の実施後に入館許可を受けてください。入館許可後は、消毒を行ってから入館をお願いします。
- (3) 選手の待機場所及びチーム応援関係者は、指定された場所を使用してください。
- (4) 更衣室(1F)の利用は指定された場所をお願いします。
※別紙タイムテーブル参照
- (5) ウォーミングアップに関しては、サブアリーナ（時間指定あり）にて実施してください。指定時間以外のウォーミングアップに関しては、2F3Fランニングコースまたは、屋外のマロニエテラスにて実施してください。ハーフタイムのアップはできません。
- (6) メインアリーナへの入場については、密を防ぐ観点からサブアリーナで待機、前の試合が終了後、ベンチエリアの消毒と前のチームがコートから退場した後、役員の指示に従って入ることができません。
- (7) 消毒用のアルコール等は主催側でも用意しますが、参加チームでも用意し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒や、使用用具の消毒を実施してください。
- (8) コート上の競技以外の場所等でのマスク着用（受付・更衣・応援等）にご協力ください。
- (9) 会場内での食事はなるべく控えてください。食事をとる場合、会話はせず、密にならないよう隣の人との距離を取るようにしてください。

5) 健康チェックシートの記録と管理

・チームスタッフ、選手等本大会の参加者は、大会が開始される2週間前から健康状態を観察・記録する必要があります。感染対策責任者は管理を行なってください。

※会場に入場する選手・スタッフ・チーム関係者の参加者名簿の提出、健康確認シートの管理が必要になります。

※参加者名簿にチェックがつかない場合、当日の体温が37.5℃を超える場合、体調に少しでも不安がある場合は、該当者の出場を見合わせ、大会本部までご報告ください。

【体温測定・体調チェック】

体温測定：選手、チームスタッフ、審判、関係者、スタッフは必ず毎日実施してください。

6) 「新しい生活様式」に加え、バスケットボールを行う上での感染対策

(1) マスクの着用やソーシャル・ディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守する。

TOは全員マスク着用。ベンチではコーチ・選手ともにマスクを着用する。

但し、プレー中に装着する場合は、「布・ウレタン」を熱中症・脱水症予防から推奨します。

(2) 手指消毒液など、試合や練習では広く使用ができるように準備し、頻繁に手洗いを実施する。

(3) スポーツ施設・用具器具、その他の備品も頻繁に消毒する。

※バスケットボールの消毒に関しては、ボールそのものの劣化を招く可能性があると言われておりますので、指定ボールメーカーの「お手入れ方法」に従い実施する。

(4) タオルの使用など個人で用いるものを区別して取り扱うことを推奨します。

個人用のカゴを作るなどの工夫で、別々に取り扱う意識を高めること。

(5) ボトルのまわし飲みしない。飲みきれなかったドリンクは持ち帰ること。

(6) 会場等で発生したゴミを収集する際は、マスクや手袋を必ず着用してください。ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、廃棄してください。チームで発生したゴミは各チームで持ち帰ってください。